



あなたと私の

人文学

10:00~11:30 <全4回>

玉島市民交流センター 第2会議室

第1回 6/17(土) 「みんなでつくる『幸せのワクチン』」 ~PBIS 倉敷モデルの挑戦~

元倉敷市立西中学校 校長 松本 一郎 氏



★まつもと いちろう★

倉敷市内中学校の社会科教諭、教育委員会人権教育推進室主任・主幹。総社西中学校教頭、倉敷市教育委員会参事兼人権教育推進室長を経て、今年の3月まで倉敷市立西中学校校長として「PBIS倉敷モデル」の実践を通じ、人権教育の普及活動を行った。

「みんなでつくる『幸せのワクチン』で人権を尊重」

倉敷市内小中学校で実践が広がっている「PBIS(ポジティブな行動介入と支援)倉敷モデル」は、家庭や地域社会でも実践することができます。倉敷市立西中学校での実践をもとに、家庭や地域での実践の在り方を、皆さんと一緒に考えます。みんなで「幸せのワクチン」を大量生産し、人権が尊重された明るく住みよいまちづくりを、「PBIS倉敷モデル」で実現しましょう。

第2回 7/8(土) 「終活から考える」 ~見送る立場と見送られる立場... 何から始める?

エヴァホール玉島 法人営業部 次長 前田 通朗 氏



★まえだ みちあき★

(株)いのうえ エヴァホール入社。その後、国家公務員共済組合アコメイズ葬祭部を経て、(株)サカエ エヴァホールへ転籍。平成30年度 玉島商工会議所青年部会長。・1級葬祭ディレクター。(厚生労働省認定)・玉島ライオンズクラブ会員。現在、玉島浅口地区中心に活動している。

「あらためて...自分自身のこれからのことを考えましょう！」

- ・見送る立場として、見送られる立場として、残る身内のことを考える。
- ・日本の「終活」事情について。
- ・短編ドラマ。「愛する家族のために」
- ・事前のこと。(エンディングノートの書き方や注意点)
- ・葬儀のこと。(家族葬と一般葬の違い、コロナ禍の葬儀について)
- ・事後のこと。(葬儀後の主なすべきこと)

第3回 9/9(土) 「子どもの権利を守る」 ~貧困や虐待の実態と課題から~

川崎医療福祉大学 医療福祉学部 講師 直島 克樹 氏



★なおしま かつき★

岡山城東高校、関西学院大学大学院修了後、児童家庭支援相談員を経て、2013年より川崎医療福祉大学で現職。「子どもを主体とした地域づくりネットワークおかやま」代表、「子どもの貧困対策センター公益財団法人あすのば」アドバイザー、岡山市児童福祉審議会委員を務める。

「子どもの権利を守るために私たちに何ができるのか」

現在、貧困や虐待など困難な状況にある子どもは少なくありません。日本は、国連が定める子どもの権利条約を批准していますが、十分な取り組みができていないとは言えません。すべての子どもの権利を守るために、私たちに何ができるのかを考えていかねばなりません。本講座では、貧困や虐待などの状態に置かれている子どもたちの実態を踏まえ、子どもの権利を守るための今後の展望を考えていきたいと思ひます。

第4回 10/21(土) 「私の歩んだ道」 ~手話と私~

厚生労働大臣公認手話通訳士 井上 宏美 氏



★いのうえ ひろみ★

聴覚に障がいをもつ両親のため、幼い時から手話を使い、通訳的な存在となる。その後、看護師として約40年間の勤務で、ろう者の手話通訳として尽力。岡山県手話通訳者と厚生労働大臣公認手話通訳士の資格を取得する。現在は、手話通訳活動をする傍ら、大学・高校で手話の非常勤講師や公民館の手話講座を担当している。

「手話との出会い...」

- ・聴覚障がい者とは、手話とは。
- ・体験談。(赤い三輪車・ひろみさん、手はお膝!・ラブレター事件・Nさんとの別れ...)
- ・両親の「金婚夫婦お祝いの集い」に手話を。
- ・手話をしてみましょう!! (あいさつの手話・手話歌「上を向いて歩こう」)
- ・私の想い。(たくさんのありがとうを込めて...) 他

定員 50名

問合せ:玉島公民館
倉敷市玉島阿賀崎 1-10-1
☎086-526-7625

- マスク着用でご来館ください。また、受付時に、検温や手指消毒にご協力ください。
- 次のいずれかに該当する方は受講をご遠慮ください。
発熱(平熱+1度以上)、咳、のどの痛みなど体調が悪い場合/新型コロナウイルス感染症を発症してから2週間を経過していない場合/同居家族の感染が疑われる場合
- 上記条件が変更となった場合は、ホームページ等でお知らせします。
- 講演会開始2時間前の時点で「暴風警報」もしくは「特別警報」が発令している場合は中止とします。